

2008～2009

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区



京都部部報

京都部



BULLETIN

第3号／2009.7 発行

京都部部長主題 『意識をもって活動に参画しよう！』

～555実現に向けて～

西日本区理事主題

Enjoy Y's life with Consideration! 「思いやりを持ってワイズライフを！」

Share with a smile

一わかし合いは微笑みをもって～

国際会長主題

Be the light of Hope

「希望の灯となろう」

アジア会長主題

Be the light of Hope

「希望の灯となろう」



「さらなる京都部の飛躍に向けて」

第13代京都部長 藤田 寿男 (京都ウイングワイズメンズクラブ)



去る6月21日昼前、08～09期の最終評議会におきまして、ずっしりと重い部旗を山中次期部長に引き継ぎました。既に引渡しの終わった資料や部長バッジ、そして様々な事業への想いが、目に見えないけれど、その旗に込められているような気がしてなりません。「やっと終わった」と言うのが正直なところです。子どもエコライフチャレンジ事業や部の財政の見直しなど、いくつかやり残したと感じているものもありますが、各主査の創意工夫とバイタリティー

溢れる活躍で、ほとんどの事業をやり終えたという達成感が私だけでなく部役員一人一人の胸の内に溢れていることと思います。各クラブの会長様はじめ、メンバーの方々の大きなご支援とご協力のおかげと心より感謝いたします。

部長主題として掲げました「意識をもって活動に参画しよう」は、一人一人がYMC Aと共にあるということの意味と、各クラブが展開されている事業の原点に込められた意味をそれぞれがきっちり受け止めてほしいとの思いを言葉にしたものです。そこにワイズメンズクラブのアイデンティティーがあると思っています。公式訪問や様々な集会でそのことを伝えてきたつもりですが、どの程度浸透できたかは判断できません。しかしながら、事業主査の皆さんが取り組んでこられた様々な事業を通して、少しずつ理解を深められたのではとの感触は得ることができました。

残念ながら副題のメンバー555名の実現はおろか、500の壁突破も遠く及びませんでした。5月末時点の西日本区では期首から77名の増となっているのに、京都部では6名しか伸びていないのが現状です。例年6月末に多くの退会者が出ることを考えるとマイナスさえも覚悟しなければなりません。この点は大きな反省となりますが、それぞれのクラブに、一人一人のメンバーに、この1年の取り組みの中で増員に向けての意識が着実に浸透してきたものと確信しております。各クラブにはEMCのCを大切に、結果としてのメンバー増強をお願いしてきました。どのクラブからもメンバー候補への一層のアプローチや新しい取り組みに向けての一步を踏み出そうとの感触を得ています。次期にこそもう一段階、京都部のステップアップが実現しますよう、山中部長のリーダーシップのもとで更なる飛躍を期待します。



次期部長 山中 将平

一年前は、まだまだオブザーバー的なノンビリ気分でした。京都部の運営についていだけ、次期の構想も「そろそろ考えんとなあ」といったところでした。部長の役割、京都部の運営や行事を見て、責任の重さを痛感し、一人で構想を練っていると「自分に部長が務まるのかなあ」と気が重くなることも多々ありました。夏になり、書記、会計、そして秋には事業主査が決定し、次期の準備が本格化。京都部部長としての思いを皆さんと語り合ううちに、適度に緊張感が増し、テンションが上っていることを感じました。12月、初めて京都部次期役員が一堂に集まった時、この仲間が力を出し合えば、一年間乗り切れるという明るい兆しを感じました。そして、西日本区次期会長・主査研修会・次期会長会等で次期会長の皆さんともお話しをするうち、皆が協力し合えば、京都の各クラブが、そして京都部が、「きっと素晴らしい一年になる」と確信しました。時間の感じ方はその時の状況で随分違うものです。年度当初は、重圧や焦りの少し嫌な時間の流れ。夏頃から次期の準備が本格化し、予定表が次々に埋まり、アッという間に日が経ち、準備が進むと7月が待ち遠しく感じました。次の一年は皆様と共に「充実した時間」を体感したいと思います。



直前京都部部长 新山 兼司

【意識をもって活動に参画しよう！】 - 555実現に向けて -
との主題でスタートされた藤田部長が1年を終え、私はこの1年間直前部長としての立場で部の運営に参画させて頂きました。藤田部長を先頭に キャビネットや主査の方々が、各クラブの事業や会員増強を側面からサポートすることにより、京都部の多くのクラブが素晴らしい結果を得ることが出来たと思います。又、西日本区大会での、京都部各クラブが多くの賞を受賞された事も、この1年間を象徴しているようでした。部内においては、京都YMCAと各クラブの相互理解をより一層深められ、多くのメンバーが新たな交流や出会いの場を与えて頂いた事、又、合同例会もたいへん多く実施されました。各クラブの会長さんはじめ、メンバーおひとりおひとりの事業活動に対する情熱が、京都部全体の源であり、各事業が活発に運営されました。この勢いを山中部長も引き継いで頂き、更なる前進を図って頂けるものと確信致します。

最後に、西日本区最大のメンバー数を誇る京都部において、部の運営に携わり、多くのメンバーと出会い、語り、励まし合い1年を過ごさせて頂いた事に心より感謝申し上げます。有難うございました。



監事 大槻 信二

タイトルは、他の役員の皆様と同じく「一年を振り返って」となっていますが、私に取りましては、次期部長・現部長・直前部長そして、今期の監事と4年間の京都部役員を終えることとなります。この間、70名の会長様、28名の主査の皆さん、15名の部長・スタッフの皆様とともに、京都部の運営に携わったことになります。時には悩んだ事もありますが、それとても、一人では無く共に考えてくれる仲間がいました。今となれば総じて楽しい思い出ばかりです。

この様なふれあい、出会いこそが、ワイズの醍醐味であり30数年続けてこられた原点であると思います。ワイズでは、決して「金持ち」にはしてくれませんが、間違い無く「人持ち」にはしてくれます。ありがたい事です。

豊かな気持ちを与えてくれる京都のワイズメンに感謝すると共に、この様な思いを一人でも多くの人々に経験して頂きたいと思います。一人でも多くの人にワイズメンになって頂きましょう。！ そうすれば555は、夢では無く、通過点です。その思いを持ちながら、今後も今までは異なる立場で、京都部の発展のため、微力ではありますが、努力を続けてまいります。ありがとうございました。



Yサ・ユース事業主査 上原 康

かみがわチャリティーランが終了し、ホッと胸を撫で下ろしたと同時に、すべてのYサ事業に参加できた、達成感と充実感をいま大いに味わっています。今期も多くの事業が行なわれ、主査という大役を無事に終える事が出来たのも、藤田部長はじめ京都部役員の皆様、そして各クラブ会長、Yサ委員長の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。今期の活動方針の1つとして、京都YMCAのリーダー育成への支援を打ち出し、今回第1回目となるグローバル・コミュニティ・スタディが企画され、2名の野外リーダー清水君と村瀬さんをインド・ランチのYMCAへ派遣する事が出来ました。2月17日から24日までの8日間行われた研修で、現地YMCAが取り組むコミュニティワークを学び、京都YMCAの今後の活動に生かしていただきたいと思います。

また4月19日に実施いたしましたYYフォーラムでは、インド・ランチでの海外研修報告と共に、京都YMCAの様々なリーダー達の日頃の活動報告をしていただき、彼らの素晴らしい活動を多くのメンバー皆様に知ってもらい、ワイズと京都YMCAの協働理解への架け橋になる事を願っております。

今期の活動を通して多くの皆様と出会え、また共に活動し、本来の奉仕の素晴らしさを再確認させて頂き、私にとって大変貴重な一年となりました。心より感謝申し上げます。これからも引続きYサ事業への温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。



地域奉仕主査 山田 隆之

主題に次世代のために(環境・HIV/AIDS)を掲げさせて頂き、藤田部長を初め京都部役員の皆様、また各クラブの会長、委員長様のお陰で何とか年間務める事ができ、大変感謝いたしております。

今期の初めに京都部各クラブの地域奉仕、環境事業を知るために、懇談会、アンケート調査から活動を初めました。

各クラブの多彩な事業を知ることで、私自身ワイズメンとしての誇りを再確認させられました。主査としての抱負にも書かせて頂きましたが正に、地域奉仕事業は奉仕クラブの根幹となる活動で、我々の存在意義が問われる事業でした。また、初めて自クラブを外部から見ることができ、クラブの大切さや友情の大事さを改めて見直す事ができ、貴重な経験をさせて頂きました。クラブの輪を大事にし、良いクラブを作り、安定したクラブ運営をする事が、積極的な奉仕活動を行うことに繋がる事が実感できました。

今後も京都部地域奉仕・環境事業主査の経験を下にワイズメンとして地域奉仕をはじめ、各事業に積極的参加していきたいと思います。一年間有難うございました。



EMC主査 高田 敏尚

京都部は昨年度に引き続き「京都部555」、なんとかしてメンバー555人の確保をめざしてきました。そのため、期首にも「メンバーの幅をひろげ、楽しいクラブライフの推進につとめます。Eと同時にCも大切で、例会の充実、出席率100%をめざします」という主査方針を掲げました。2008年1月で京都部メンバー456名でした。09年4月で463名です。ちなみに今期のスタートは457名でした。

各クラブでは、合同例会の開催や（部内各クラブ）、100人例会（4月ツアービークラブ）、150名が参加した恒例となっている森の中の音楽会（3月エイブルクラブ）、EMCオリエンテーションの実施（グローバルクラブ）、EMC臨時例会（京都クラブ）、さらにはメンバー8名の福知山クラブが、クリスマス祝会（例会）を21名の参加で成功させました。

このように各クラブで部の意向を反映していただき、多彩な取り組みで新たなメンバーの獲得に尽力していただいたことと思えます。このようなはたらきが、経済状況など厳しい中で、ドロップを上回る新メンバーの獲得につながったと思います。

また、EMC委員長交流会を2回行いましたが、やはり、京都部17クラブが一同に会し、EMC方策について意見を交流することは各クラブの活動やEMCにプラスの方向で、各クラブのやる気を喚起する意味でもよかったと考えます。最後に毎月のEMC集計表を作成していたのですが、やはり勢いのあるクラブは出席率が高いというのが実感です。プリテンにも「出席第一」と書かれているクラブが多いのですが、例会に進んで参加する、例会を大切にすることこそがEMCの第一歩ではないかと思いました。



ファンド事業主査 川嶋 宗男

1年間、BF・EF・JWFの献金にご協力いただき、ありがとうございました。

ファンド事業はこの事しかございませんが、その中でも特に使用済み切手の換金に力を入れ、1年間、「切手きりの川嶋」を謳い文句にして、部長公式訪問でアピールしてまいりました。

中でも印象に残るのが、みやびクラブの切手整理例会に伺った時のことです。たくさんの切手を回収され、8キロもの切手が換金でき、その結果、西日本区大会でBF特別賞を受賞されましたことです。京都部のBF主査として大変誇らしい出来事でした。

また、BFデリゲートについて少しでも理解いただこうと企画した報告例会では、昨年のBF代表に来ていただき、ブラジル訪問での珍道中話が聞けました。これをきっかけに、今後も京都部からBF代表が誕生してほしいと思いました。

そして最後に、アフリカ・ナイジェリアからのBF代表の来京で、3日間お世話させていただいたことも強烈に印象に残っています。我が家に1日お泊りいただきましたが、家族にとっても外国からのお客様は初めて。言葉の壁もさることながら、生活習慣、食事の好み、何もかもが初めての経験で、大変やら、困ったやら……。でも、1歳半の息子もすぐに打ち解け、「Cute Baby!」とかわいがってもらえましたし、今から思えば楽しい思い出です。貴重な経験ができました。主題の「楽しもう、ファンド!」は、結果的には私1人が楽しんできましたかもしれません。すみません。他の事業主査が沢山の事業に追われる中、部長公式訪問に同行しては、「切手切りの川嶋です」と、さまざまなクラブと交流できま

したし、BF代表が来るとなれば、英語も話せないのに、このこついで回って……。楽しい時間を過ごし、いろんな経験ができ、充実した1年になりました。京都部の皆様、ご協力ありがとうございました。



京都部交流事業主査 森田美都子

よく“若い時の一年は長く、老いてからの一年は短い”と言われる。それは新しい経験ををするその人物の感激度合に比例するものらしい。

私にとってこの一年はときめく初体験の積み重ねで、とてつもなく長く貴重な日々であ

った。

夏 期が始まってすぐセンチュリークラブ片山コメットのSTEPに「どうか無事で元気ですばらしい体験をしてほしい」と我が娘を送り出すがごとく一杯の気持ちで帰国を待ちわびた。報告会でのDVDは大切な思い出と資料となっている。

秋 今期初のDBC締結がめいぶるクラブと熊本東クラブで執り行われた。

同日に行われたトライアングルミーティングに参加し臨場感ある三国の交流を味わうことができた。

冬 ツアービークラブが韓国の安東クラブからの重鎮メンバーを迎えてのお見合い例会に出席。4月にめでたくIBC締結となった意義ある例会参加であった。

春 プリンスクラブが東京サンライズクラブとDBC締結。霞ヶ関の高層ビルで赴き異なる締結式に参加できてこれ又感激の日となった。

6月の西日本区大会の日、史上初であろう京都ウエストを中心に5クラブのペンタゴン締結式に臨んだ。

そしてこの一年、部長随行の際にはおこがましくも拙い私のスピーチをお聞きいただいた各クラブメンバーの皆様方には、今になって思えばもっと伝えるべき事、もっと求められるべき真髓に触れた情報収集をすべき立場ではなかったかと心残りしきりではある。しかし、役を離れてからこそがこの一年の経験を実体験に移すべき責務ありと考え、及ばずながらこれから邁進する所存である。

最後に初役員会に土足で踏み込んだ私が、こんなにも毎月の役員会を心地よく楽しく一年間を終わらせていただけたのは、偏に藤田部長の強いリーダーシップのもと今期の京都部役員の方の温かい度量と懐の深さの賜物と感謝を申し上げる次第である。

本当に本当にありがとうございました。



広報事業主査 村澤 功三

まずは、今期の京都部広報事業にご協力いただきました京都部各クラブ会長並びに広報事業委員長にお礼と感謝を申し上げます。

今期は、部長公式訪問随行での主査スピーチ、京都部HPと京都部広報版の管理及び利用活用の推進、京都部HPアンケート、地域奉仕事業「ワイズデー」の共同開催、対外向け広報活動アンケート、などを実施させていただきました。その中で、各クラブで行われている多くの事業に接し、広報活動の情報をご提供いただき、京都部広報に対する厳しくも暖かいご意見を伺う機会など、貴重な経験を行うことができました。

しかしながら、そういった1年間の事業活動の中で、広報事業の改善や新たな試みを実現するに至れませんでしたことが反省です。

最後に、今期の京都部役員の皆様方、大変お世話になり有難うございました。



最後になりましたが、今期藤田部長のもと、役員の皆様と共に活動できましたことに深く感謝いたします。この出会いと感動を忘れずに、今後はもっともっとワイズライフを楽しんでいきたいと思っています。一年間、本当にありがとうございました。



まさに京都のワイズメンズクラブの特徴は、YMCAに対して財政的な援助だけで終わるのでなく、YMCAの諸活動に積極的に関わりリーダー・ボランティアと共に働くワイズだと言う事が言えるのでないでしょうか。病気の子ども達へのプログラムや、国際協力募金、日本語科の留学生への支援、発達障がい児への支援プログラムなど今期も多くのプログラムに関わっていただきました。その他様々な支援に対して各クラブの皆様へ心より御礼申し上げ、併せてその為に調整等ご尽力いただいた藤田部長をはじめ京都部の皆様に感謝申し

A black and white portrait of Mr. Kim Sang-ho, a middle-aged man with dark hair, wearing a suit and tie. The portrait is circular and positioned at the top left of the page.

1年があったと言う間でした藤田部長、書記、会計の側で何もお役に立てずにごめんなさいでも楽しい1年でしたありがとうございました。



今回、初めて自クラブ以外の役職を拝命しましたが、多くのワイズメンの方にお会いでき、本当によい機会を与えて頂いたこと感謝しております。これからも、ワイズメンとしてそして社会の中の一員として今回の経験を生かして生きたいと思います。一年間本当にありがとうございました。



京都ワイズメンズクラブ会長 金澤 市郎

会長主題は「温故知新」「和衷協働」でした。クラブのメンバーに呼びかけるものですが、自分自身にかかる言葉でもありました。この1年間も多くのことを学ばせていただき、これからの活動にも生かして行きたいと思っています。数多くの事業については、メンバーが協力して楽しく取り組んでもらえたと思っています。

後半の事業については、車いす駅伝の介助支援では、毎年同じ中継所を担当していると、移動のバス内で選手の方たちと話すことで顔見知りになることが多くあります。今年は静岡チームの選手との会話で、「富士山を見ながら練習している」とか「6月で定年を迎える」など打ち解けた話に発展して、また来年もお会いできるのを楽しみにしています。

留学生の卒業記念アルバムの作製は、今年から文集よりアルバムにウェットをおいて作製してほしいとの要望をうけ、川柳や寄書きを入れるなど今までとは一味違ったものが出来上がり留学生に喜んでもらえました。国に帰られて、いい思い出を家族や友人に話し、YMCAをアピールしてもらえれば、との思いです。

交流事業委員会では、昨年に引き続き5月に韓国の大邱市を訪問。IBCを締結している南大邱クラブとの協働事業化へ向けた提案を行い、賛同を得、「京都クラブから具体的な提案を行ってほしい」との依頼を受けました。この事業はYMCAを通じて両クラブが協働して事業を行なうもので、次期に向けた交流委員会の大きな柱となりました。当日は予定を変更して例会を開催してくれたので、多くのメンバーとも交流することが出来ました。



チャリティーランでは今年もグループランに5チームが出場しました。ワイズメンは2チーム、留学生が1チーム、国際リーダーが2チームになりました。そして屋台では好評のビビンバを提供しました。走ることもビビンバを作るのもみんなで楽しむことが出来ました。そして今年も大量のテント、机、椅子などを提供して下さった公益社・加藤ワイズには大変お世話になりました。感謝です。

福知山ワイズメンズクラブ会長 小林 稔



『活力をクラブライフに』を主題に掲げて、今この一年を振り返ってみますと、福知山クラブは少数メンバーですが団結力、行動力を発揮して大事な事業活動にご協力を得て全てを無事終えることが出来ましたが、後半期の目標はメンバーが、心をひとつにして会員増強を目指して例会の充実を図り楽しい親睦と良きゲストの卓話を聞く機会に多数の人々を誘い合って取り組んで参りました、後半期を報告致します。

2月のゲストスピーチは「自然との共生」と題し福知山市の母なる川由良川水系の環境問題を、3月は福知山丹波生活衣館の昔より現代に至る日常生活の衣の移り変わり、生活の用途によって普段着、仕事着、よそ行き着、晴れ着と区別をする繊維製品の衣文化を学び、5月は席上書き初め大会で永年審査指導をお世話になっている先生に美しい文字の書き方と文字の由来と楽しい書の学び方、6月は海外22カ国視察旅行をされて外国と日本の生活慣習の異文化にご苦勞された体験談を伺いました。

CS事業活動

新春(1月5日)第44回小中学生席上書き初め大会は全国でもあまり類の少ない大会で会場にて各学年ごとに課

各クラブ会長 1年を振り返って

題を与えて会場で清書をして提出します。重圧と緊張感の中で真剣な表情で筆を走らせる姿には感動致しました。

5月3日第44回福知山市子ども大会は、市内の22のボランティア団体が参画し、健全な遊び場が失われつつある子ども達に安全でふれあいがあり自主的な遊び場と、昔懐かしい竹細工の指導で竹馬、竹とんぼ、竹鉄砲など親子連れで行列ができ好評でした。

この一年クラブの事業は地域に対し広報活動が出来、メンバーが全員増強に努力していただきましたが私の力不足で達成できなかった点反省致しております。

京都パレスワイズメンズクラブ会長 田中 一馬

準備期間をいれて約1年半の期間にわたり、クラブ会長としての職務を遂行してきましたが、この1年半という期間はアツという間に過ぎ去ったなと感じる半面、振り返るといろいろな場面がたくさん思い出されます。Yサ事業ではサバエ開設ワークに始まり、国際協力募金、リトセンオートムフェスタ、夜桜フェスタ、チャリティランとYMCAと楽しく協働できました。地域奉仕環境事業では、和敬学園への数々のサポート、エコバックの販売、献血とさまざまな地域奉仕活動を行いました。ファンド事業では恒例のジャガイモ販売、トスファンド、ネットオークションと多額の奉仕活動資金を獲得できました。交流事業では、東京クリーンクラブと台中エバグリーンクラブからメンバーの受け入れ、熱海クラブへの訪問と、IBC・DBCとの交流を深めました。EMC事業では5名の新入会員を獲得し、4名の退会者と差引いて純増1名と不況の中増員することに成功しました。広報事業では毎月しっかりと中身の濃いブリテンが発行され、ドライバーも毎回楽しい例会を企画してくれました。



それ以外にも下期からスタートした追加事業検討委員会では40周年記念事業の概略が検討され、トゥービークラブ・ウェルクラブとの三クラブ合同例会や三役主催忘年会、西日本区大会参加とたくさんの事業をこなしました。どの事業も大きなトラブルもなく、しっかりとした成果が残せたことは会長として本当に喜ばしいことだと思っておりますが、これは私を除く三役をはじめとするクラブメンバーの献身的な働きによるもので、会長というのは本当に無力だと痛感しその職務の難しさを実感しました。1年間文句も言わず支えていただいた三役のみなさん、素晴らしい事業の数々をこなしていただいたメンバーのみなさん、クラブに関わりをもっていただいたすべてのみなさん本当にありがとうございました。この感謝の気持ちをもって1年間の振り返りといたします。

京都ウエストワイズメンズクラブ会長 山下 太郎



どうにか会長期を無事に終えることが出来ました。今期は目に見えた変化を付けるという意味で委員会をふたつにしました。ブリテン、ドライバー、EMC、交流、広報担当を第1委員会、Yサ、地域奉仕環境、ファンドを第2委員会担当とし全員がいろんな事業に携わるようにしたつもりですが、上手く機能したかどうかには少々疑問点が残るところです。ただ例年に比べて委員会が毎月確実に開催されたのは間違いないと自負しております。2名の委員長様には大変負担の残る1年であったのではないのでしょうか。ご苦労様でした。

「会長をやらないとわからない事が沢山あるよ」とよく耳にしますが、まさにその通りで貴重な体験を積むことが出来た1年だったと思います。仕事柄土日の行事にあまり参加することが出来ない事もあり、会長になって

京都めいぷるワイズメンズクラブ会長 松尾 隆正



京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 香山 章治

A large group of approximately 30 people, including children and adults, are posed for a group photograph in front of a building entrance. The group is arranged in several rows, with some individuals sitting on the ground in the front. The building behind them has a sign above the entrance that reads "KAWAII KAWAII KAWAII" and "KAWAII KAWAII KAWAII". The photo is in black and white.

バー全員が充実感満点のうちに終えられたと思います。当日はもちろんのこと、今振り返りますとその日を迎えるまでの準備過程の中により強い思い出が残ります。その準備過程の中にこそ、本当の意味でのキャピタルらしさがあつたのではないかと思います。とにかく、メンバー・メネットの皆さんに支えられながらなんとか次期瀬本会長にバトンタッチができそうです。いろいろと大変なこともありました、とても愉快的なこともあり、この一年の思い出は私の人生の中に、しっかりと刻み込まれることでしょう。こんなに素晴らしい記念すべき期に会長をさせていただき、改めて感謝申し上げます。また、クラブメンバーの方々より深くつながることもできましたし、他クラブの会長様をはじめ、部長及び役員の方々など多くのワイズメンと知り合いになれたことに感謝し、また自分自身数々の失敗をしましたが、その分多くの自己研鑽ができたと思います。このことを自分自身の財産として、またクラブのため、ワイズのため、そして自分自身のためにこれからも前進してまいりたいと思います。そして、京都キャピタルワイズメンズクラブは、2010～2011年の西日本区大会のホストクラブとして代議委員会にて正式に承認されました。次期、次々期と今期以上にクラブが一つになり、西日本区大会に向けて盛り上がっていかねばならないと思います。京都部のワイズメンの皆さま、ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

京都プリンスワイズメンズクラブ会長 廣井 武司



2008年7月4日から6日までIBC締結している台湾台中エバーモアクラブ訪問からスタートをきりました。

メンバー、メネット12名での20周年のお祝いへの参加、

大いに国際交流を深めてきました。

そして本年2009年4月25日、夢であった東京サンライズクラブとのDBC締結式を東京霞ヶ関ビルの33階で東西日本区理事、交流主任、交流主査の立会いのもと無事終えることができました。IBCに始まりDBCで一年が過ぎました。これらのプログラムでクラブのメンバーに刺激を与えて、意識の活性化を図ったのですが、その成果はまだ先にならないと見えてこないかもしれません。しかし何かが変わりつつあることは確かです。

今期の主たる目標であったメンバー増強については新しい会員を迎えたにもかかわらず、退会者がでてしまい実質会員減少という結果になり、残念でなりません。

多くの退会者のその理由を考える時、もしかしたら防げたのではと感じることが多くあります。今後の課題となりました。会員増強に全く無関心であっては真実がみえなくなってしまいます。5年後、10年後を見据えてのクラブの姿をみんなで考える必要を感じた一年でもありました。

そして、最後まで共に行動してくれた全メンバーに感謝しています。

京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 赤松 悦治

ワイズ暦も浅く経験も乏しい私がクラブ会長を拝命して当初非常に緊張していたのを思い出します。まああまり難しく考えず楽しいクラブ作りをしよう、楽しければ人も集まる、そういう思いでスタートいたしました。一方、今一度原点に立ち返り意識を喚起するため委員会についても各委員長が責任を持って企画運営することとし、より多くの参加を得る事が出来ました。また今期は



各クラブ会長 1年を振り返って

西日本区のユース短期事業の一つとして我がクラブの片山コメットがステップ生としてカナダを訪問いたしました。このことは我がクラブにとっても記念すべき記憶に残るものとなりました。事業主任をはじめご尽力いただきました皆様にあたためてお礼申し上げます。

何よりも私自身今期のサブテーマ「参加しよう。楽しもう。広げよう」を実践する中でより多くのメンバーの皆様と接し交流が出来たこと、経験したことは私にとってプラスとなり楽しむ事が出来ました。感謝いたします。センチュリークラブは少人数のクラブですが今後とも団結力を持って共に行動しワイズライフを楽しみたいと思っています。最後になりましたが京都部の皆様、各クラブの会長様にはこの一年間お世話になりました。ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

京都ウイングワイズメンズクラブ会長 **今村 隆宏**



感動の瞬間！！『京都ウイングクラブ』佐藤典子西日本区理事にコールをして頂いたあの日、あの瞬間は一生忘れる事はないだろう。

西日本区最優秀クラブ賞という名誉ある賞をいただき、本当に感謝の気持ちで一杯です。賞を頂くことを目標に一年間活動をしていた訳でもないのにどうして？と想いながら一年間を振り返ってみよう。

ウイングクラブの22期の標語は《心から親睦、そして団結》。クラブに入会された理由はメンバー全てではなく、ベテランの方も入会して間もない方もいる中で、どうしてクラブがまとまり、団結力が出るのかを考えていた。私が各委員長を選任する時、入会して間もない方やクラブの活動にあまり参加されていない方を先ず選んだ。共に勉強し各委員長が助け合い、事業に参加する事

から何かが始まる。YMCAや地域奉仕・環境に関する活動も多く、7月からほぼ毎週、週末はワイズの事業に費やしていく中で、スタートから新しい風が吹いた。それは、今まで参加してなかったメンバーが参加してくれるようになった。夏のワークは辛く、猛暑でクタクタになってもできるだけ打ち上げは欠かさず、最後は美味しいお酒で楽しく終わる。各事業の意味をもっと把握して参加するべきという、厳しい意見もありながらもメンバーは本当に協力的でした。京都部会のホストという大きな役割も、メンバー、メネットの団結で大成功に終えた。IBC事業もコメットの韓国金浦クラブメンバー宅へホームステイをし、又金浦クラブの記念例会に17名が訪韓し、活発な交流ができ親睦が深められた。各事業を振り返ると紙面が足りないので止めておきますが、とにかく藤田部長を輩出しているクラブとして、意味のある活動をして、報告は正確にする事を意識した。ウイングクラブのバランスが評価されたのだと思う。最後に正直に言いますが、こんなに感動を一杯貰えるならもう一度会長をやりたい。色々あつたけれど、こんなに思い出が作れた一年は人生で初めてです。ウイングの皆さん本当にありがとう。感謝！感謝！この経験をこれからのワイズの活動に生かして行こうと思います。もう一度言います…お疲れ様、本当にありがとう。

京都洛中ワイズメンズクラブ会長 **荒木 恒夫**

つい先日、今期の抱負とか、目標とかを書いた様な気がします。が、今向かいあっている原稿用紙の表題が、「一年を振り返って」とは、驚きです。私は振り返ったりしません、前を向いて進むだけです。なんて事を言っても、やっぱりこの原稿は書かなければならないし…。

昨年度は、20周年の節目の年で、次期は京都部部会ホ



各クラブ会長 1年を振り返って

ストだから今期は谷間で地味に次期へ向けて体力温存などと、事有る度に声高々に唱え、あたり障りのない一年になんて考えがふと頭の中をよぎった事も。でも、メンバーの皆様のお蔭で、予定通りの事業の遂行と、成果、沢山の思い出を残すことが出来ました。中でも一番記憶に残るのはやはり、サポートさせて頂いている養護施設つばさ園の子供達とのふれあいです。去年は20周年記念事業の一つとして、園児の皆さんを、潮干狩りに招待しました。その為に、夏休みのサバエキャンプ場招待のプログラムを無くしたのですが、沢山の園児から楽しみにしてたのに…との声が聞かれ申し訳ない思いで一杯でした。今年度の行事で会う度に、今年は絶対琵琶湖に連れてやあ・キャンプあるんかあ・カヌー乗せてえな……など小さな子供達の生の声が、ズンと胸に突き刺さります。夏の花火、秋のリトセンオータムフェスタ、冬のボーリング大会、初夏の嵐山クリーン作戦と、何度も一緒にする機会がありますが、会う度に成長の跡が見られ感動します。これだけの事にこれほど喜んでもらえるのかとか、そんなに楽しいのかとか、何か我々が既に忘れてしまった感動を思い起こさせてくれたり、逆にパワーを頂いたりして喜んでいます。嵐山で清掃奉仕を手伝ってくれた子供達と、これからは毎年忘れないで必ずサバエと一緒にに行く事を約束して別れました。

京都エイブルワイズメンズクラブ会長 村田 信也



今年度のテーマ「私が手本と言える行動をしよう」副題を－今を生きる証として－としましたが、確実に実現できた年だったと思います。

私達には無駄に過ごせる時間は何もありません。そんな中で奉仕活動をするにあたり、誰かに強制されること

なく自らの意志によって進んで活動をするのですから、それは自らの理想とする行動でなければなりません。

多数の奉仕活動がありますが、許す限りの時間と労力を惜しみなく費やして、諸活動に対して自ら行動を起こしていただけましたので、まさに今を生きた証として残せた事と思います。

それはまさに自らが手本となり次代へ受け継ぐべき行動だったと言えるのではないのでしょうか。

我がエイブルクラブは、残念ながらとても少人数のクラブになっています。でも多人数の会員が在籍していた時代よりも多くの奉仕活動が出来ました。それが実現できましたのは、1人1人の前向きな強い意志と高い理想があるからだと思います。

エイブルクラブは1委員会1委員長体勢になっていますが、委員長がリーダーシップを取って活動しているからこそ、その委員会で必要とされている事業が全うされ、そしてクラブ全体が前進して行けました。

今年度会長職をさせていただきましたが、私が何かをお願いすると言うよりは、会員自らの意志によって行動力を発揮していただき、この一年間の事業が全うすることが出来ました事に、全ての委員長、全ての役員、そして全ての会員に厚く感謝申し上げます。

最後に京都部の役員の皆様には、多数のご指導とご助言を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

特に京都部書記谷口様には手取り足取りのご指導に改めて感謝申し上げます。

京都グローバルワイズメンズクラブ会長 紺谷 昌丘

会長主題に「新たな行動 みんなの力が最大の力 未来へ」を掲げスタートしました。グローバルクラブも16期となり、「国際CS委員会」を立ち上げました。世界に目を向けあらたな行動を目指します。15周年ではカンボジアに小学校を建設し、16期から新たな目標を20周年に向けて準備していきます。メンバー数も55名になり、新しいメンバーの方たちと一緒に国際CS委員会を開催しました。たくさんの意見を頂きましたが、今期ではまともらず。次期に申し送ることになりました。例会、事業をふり返って見ると、いろんな事が目に浮かびます。各委員会の皆様にも本当に協力していただいて感謝を申し上げます。特に地域奉仕・環境委員会の皆様には、我がクラブがサポートしている社会福祉法人修光学園の生徒



さんと、ご家族91名をご招待して、5月第一例会（ふれあい例会）を花背山の家で開会したことです。クラブ事業としては最大のイベントです。皆様のご協力本当に感謝いたします。

最後に三役・各事業委員長・委員の皆様のご協力により、すべての事業が無事終わりました事を感謝したいと思います。この一年間の経験を活かしワイズの心を大切にしたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。一年間、ありがとうございました。

京都みやびワイズメンズクラブ会長 北村 栄司郎

昨年のキックオフ例会で始まった1年間の数々の例会、リトセン準備ワーク、サバエ開設ワーク、鴨川納涼（鴨川を美しくする会）協力、京都部部会、今回までに12回おこなわれていますが覚えのあるかぎりではこのような部会をはじめて印象に残る部会でした。鴨川合同クリーンハイク京の都中心に流れる鴨川クリーンハイク約1,300に近いボランティアが一斉清掃。クラブ活動資金となるじゃがいも集配、京都部ワイズデー国際協力街頭募金。毎年1月親クラブ（京都ウエスト）兄弟クラブ



（京都洛中クラブ）京都みやび3クラブ合同新年例会。毎年DBC熊本むさしクラブと交流2日間にかけて熊本黒川温泉「優彩」NO1旅館で例会。3つの大浴場と2つの露天風呂あり楽しいDBC例会でした。次回みやびクラブが当番とか。

2月TOF例会、毎年切手の整理。当日川嶋京都部BF・ファンド事業主査の出席もあって正式な切手整理説明。

第6回目発達障がい児理解セミナー「こども未来館」で開催。2名の講師を迎えてのセミナー講師岡田俊氏京都大学医学部付属病院、講師小谷裕実氏皇学館大学社会福祉学部教授、小児科医、西日本区メネット事業主任田上メネット、京都部藤田部長、京都部メネット事業主査松村メネット、ワイズメネット、他一般参加約140名の出席。

会場も満席、第6回目セミナーとあって評価も高く西日本区大会でメネット事業最優秀クラブ受賞、クラブとしては初めての受賞とあって大いににぎわいました。BF部門ではBF特別賞・BF100%達成賞も受賞。

みやびクラブのメンバー、メネットの協力誠にありがとうございました。

京都トップスワイズメンズクラブ会長 平間 正昭



エマニュエル・トッドというフランスの学者が記した『最後の転落』という旧ソビエト連邦の崩壊を予測した本があります。国が崩壊していく過程を乳児死亡率から危機を予言し1976年に出版された本です。事実15年後ソビエト連邦は崩壊に至ります。この本の中で社会の中でもっとも弱い立場の乳児が死亡する率が上がってくるとそ

の国家は崩壊すると述べておりますが、乳児死亡率が高いと言うことは幼児の死亡率も高いと言うことでしょう。父母や地域社会、国家が子供にカマってやれるほどの余裕がなくなってしまうと言うことでしょうか？

我々が子供に対してしてやれることは、子供を守り、育て立派な社会人として送り出してあげることが一番なのでしょうが、私はこうも考えます。それは、子供たちが興味のあること、夢中になれること、一生を通して好きでいられる事を見つけて欲しいのです。それは学問でも、技術でも、人に接する事でも、社会に対して向き合えるものであればなんでも良いと思っていますが、それを手助けし、子供たちが持っている才能を見つけて延ばしてやりそれを信じてやること、その事が子供達が自分自身で将来を決定するまでの時間を、ニュートラルな状態においてあげることがスゴク大切だと思い始めています。今期、Yサアワー例会や、リトリートセンターにおけるワイワイフォーラムにおいてリーダーの皆さんのお話を聞く機会があり、彼らの活躍を肌で感じる事が出来ました。人という動物の中で今は一番弱い立場の人間である少年少女たちの可能性を信じ育てているリーダー諸君の大きな役割に感動しましたし、この国は色々な問題を抱えてはいますが、彼らのような若者がこんなに多くいるなら日本はまだ大丈夫だと思うようになりました。少年達を見守り引っ張っていくリーダーの皆さん。そのリーダーを育てるYMCA職員。そして我々ワイズの力。ここには社会関係資本の雛形があるのではないのでしょうか！教育とは国力其の物です。若い力を信じて我がトップスはこれから微力ではありますがYMCAに貢献していきたいと思ひます。会長職について知りえた大きな収穫でした。メンバー諸君、各クラブの会長さん1年間本当にありがとうございました。

京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 伊藤 剛

キーワードは『ヒト』～人から人へ伝えよう、広げよう！～を会長主題に掲げたトゥービークラブの13期、人との新たな出会い・関わり、人に対する気遣い・心遣いを大切に考えてまいりました。

EMCでは、メンバー増強の目標は達成出来ませんでしたが、3名の新メンバーを迎える事ができ、クラブの活性化に大きく繋がりました。

交流事業では、前期からIBC締結の検討を重ねてきた



韓国安東クラブのメンバーを例会に招待、5月には釜山ロッテホテルで開かれた韓国東部地区大会の別室にて約100名の関係者が集まる中、締結式が執り行われました。今後の新たな交流に多いに期待しているところです。

また、ブラザークラブである大阪なかのしまクラブともお互いに積極的に例会情報を交換し、相互の例会を訪問しました。

熊本での第12回西日本区大会は、こちらもブラザークラブの熊本ジェーンズが大会をホストをされ、トゥービークラブからはメンバー・メネット合わせて19名が参加。二日間にわたって多くの方々と有意義な時間を過ごさせて頂きました。

以上のように、この一年間、本当に多くの『人』と出会い、交流の時間をもてた事に感謝すると共に、この経験を家庭や職場、そして今後のワイズ活動に大いに役立てて行きたいと思ひます。

一年間どうもありがとうございました。

京都東稜ワイズメンズクラブ会長 高間 正夫



各クラブ会長 1年を振り返って

昨年7月会長を引き受けてから早いもので第五期会長を無事終える事が出来ました。

昨年三月会長研修会の時は不安でしたが、前会長始め多くの方の御助言を戴き乍今期テーマ「規律有る楽しいクラブライフ」ドライバー委員長の下「落語の歴史文化について」「五環生活のすすめ」等の講演「会員の手作り料理」のクリスマス例会等楽しい充実した例会を持ち多数のゲストを迎える事ができました。Yサ委員会では国際協力募金・オ・タムフェスタ・チャリティーマラソン等参加を戴きました。地域環境委員会では、クリーン例会中心に「てんとう虫マラソン」「あしなが育英会」等多数のボランティアに参加し今後も地域と密着した行事に定着出来れば良いと願ってます。

EMC委員会では一泊旅行も実行し親睦を深め楽しい時間を過ごす事が出来そして今期二名来期一名計三名新しいクラブ会員を迎える事が出来ました。ファンド委員では「ジャガイモ・タンカン・とうもろこし・その他」協力購入有難うございました。

この一年無我夢中で走って来ましたが、力不足だったかなと感じて居ります。只人との繋がりを強く感じる一年でした。来期会長のテーマ「絆」で新しいクラブを作って戴きたと思います。最後に三役及び各委員には頑張つて戴き有難うございます。

京都ウェルワイズメンズクラブ会長 **永井 剛**

皆様、1年間本当に有難うございました。クラブ内外に多くの方々にご協力を頂き、なんとか1年間無事に終えることができました。皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

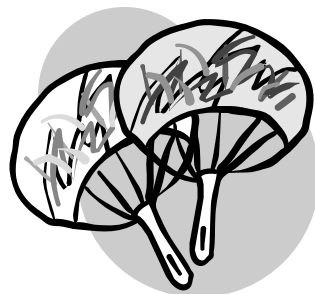


今期は、メンバーに会員増強の必要性を肌で感じてもらうと上半期を中心に例会24回の内8回を合同例会としました。ご協力を頂いた多くのクラブの皆さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。やはりたくさんのメンバーでの例会には華があります。ただ、当初私が考えていた、個々が責任感を持って会員増強へのステップを踏むところまで、届かなかったことについては、大いに責任を感じ、猛省致しております。

さて、ウェルクラブでは今期EMC委員長の発案によりお誕生日会を4回実施しました。例会のHBとはまた違い良い企画でありましたし、次期以降も続いて行けばと期待しております。Yサ事業では、炎の委員長のもとリーダー研修例会をはじめ多くの火に油を注ぐYサ事業が実現できたと思います。今後も、この灯を消すことなく、Yサ事業に果敢に挑戦できるウェルクラブであって欲しいと思います。ブリテンについては委員長を中心にマイホビーなど賑やかな誌面作りにご尽力を頂き、毎月発刊できたことを誇りに思っていますし、地味ながらコツコツと積み上げて目標額を達成されたファンド事業委員長にも感謝しています。また、ドライバーについては、例会担当制によりドライバー任せにせず、最後まで全員で例会運営できたことに、メンバーにはしんどい思いをして頂きましたが、私は達成感を感じています。

また、今期はファンド主査に川嶋ワイズを輩出させて頂きました。ナイジェリアからのBF代表の受け入れ責任者として、ご家族共々大忙しの思いをして頂いたことに敬意を表します。

最後になりましたが、ウェルは次期5周年を迎えます。この節目を目前にして、もっともっと誇れるクラブになれるよう、全員で日々精進していきたいと思います。1年間有難うございました。



今期京都部関連活動一覧

日 付	行事・事務作業・関連行事等
2008.06.06	部現次期合同役員会
2008.06.13	部地域奉仕・環境事業懇談会
2008.06.14	代議員会・区準備役員会・西日本区大会（奈良）
2008.06.15	西日本区大会（奈良）
2008.06.22	08-09期第1回部評議会
2008.06.23	部EMC懇談会
2008.06.29	区EMC主査研修会 大阪チサンホテル
2008.06.29	リトセン開設ワーク
2008.07.04	第1回部役員会
2008.07.05	第1回区役員会 Hクライトン新大阪
2008.07.06	第1回区役員会 Hクライトン新大阪
2008.07.06	サバエキャンプ場開設ワーク
2008.07.10	前期半年報区報告期限
2008.07.12	区地域奉仕・環境事業研修会 六甲山YMCA
2008.07.13	サバエキャンプ場開設ワーク
2008.07.15	キャピタルクラブ・部長公式訪問
2008.07.17	部報第1号発行
2008.07.20	～21日区メネット事業研修会（熊本）
2008.07.23	トゥービークラブ・部長公式訪問
2008.07.25	部メネット研修会
2008.07.28	～8/3日ユースコンボケーション
2008.07.31	～8/3日国際大会（デンマーク）
2008.08.05	7月度EMC調査集計表
2008.08.06	トップスクラブ・部長公式訪問
2008.08.08	第2回部役員会
2008.08.17	JOCSコンサート
2008.08.20	グローバルクラブ・部長公式訪問
2008.08.22	平和の集い
2008.08.23	～8/24日青い空と白い雲のキャンプ
2008.08.25	めいぶるクラブ・部長公式訪問
2008.08.27	パレスクラブ・部長公式訪問
2008.08.28	洛中クラブ・部長公式訪問
2008.08.30	西中国部 部会
2008.08.31	前期区費・部費納入締切
2008.09.01	次々期部長立候補告示
2008.09.05	第3回部役員会
2008.09.05	8月度EMC調査集計表
2008.09.07	九州部 部会
2008.09.07	リトセン秋の準備ワーク
2008.09.09	京都クラブ・部長公式訪問
2008.09.13	中部 部会
2008.09.14	第2回部評議会 第13回京都部部会 部メネット会
2008.09.15	阪和部 部会
2008.09.20	～9/21日六甲部 部会
2008.09.27	中西部 部会
2008.10.02	ウエストクラブ・ウイングクラブ合同・部長公式訪問
2008.10.04	～10/5日瀬戸・山陰部 部会
2008.10.05	9月度EMC調査集計表
2008.10.09	東稜クラブ・部長公式訪問
2008.10.10	第4回部役員会
2008.10.14	福知山クラブ・部長公式訪問
2008.10.15	みやびクラブ・部長公式訪問
2008.10.18	びわこ部 部会
2008.10.28	エイブルクラブ・部長公式訪問
2008.11.01	キャピタルクラブ25周年
2008.11.01	BFデレゲート応募締切
2008.11.02	国際協力街頭募金
2008.11.02	ワイズデー

日 付	行事・事務作業・関連行事等
2008,11,03	YMCA専門学校学園祭
2008,11,04	ウェルクラブ・部長公式訪問
2008,11,05	10月度EMC調査集計表
2008,11,07	第5回部役員会
2008,11,13	YM・YW・世界合同祈禱週集会
2008,11,15	～16日第2回区役員会 阿蘇YMCA
2008,11,16	リトセン オータムフェスタ
2008,11,23	めいぶるクラブ25周年
2008,11,30	BF切手・現金中間締切
2008,11,30	次々期部長立候補締切
2008,12,04	・11日グローバル・コミュニティスタディツアー 面接
2008,12,05	11月度EMC調査集計表
2008,12,12	第6回部役員会
2008,12,16	～20日クリスマスロビーコンサート
2008,12,19	YMCA会員礼拝・クリスマスキャロリング
2009,01,05	12月度EMC調査集計表
2009,01,09	第7回部役員会
2009,01,10	後期半年報区報告期限
2009,01,10	半年報確定後区費・部費請求
2009,01,10	～11日区次期役員研修会 Hクライトン新大阪
2009,01,15	センチュリークラブ・部長公式訪問
2009,01,24	チャリティーコンサート
2009,01,30	部EMC懇談会
2009,02,04	プリンスクラブ・部長公式訪問
2009,02,05	1月度EMC調査集計表
2009,02,06	第8回部役員会(合同役員会)
2009,02,08	CS・チャリティーボーリング大会
2009,02,11	ガザ支援街頭募金
2009,02,14	YMCA創立120周年記念会員集会
2009,02,15	第3回評議会
2009,02,18	部報第2号発行
2009,02,22	車いす駅伝競走大会
2009,02,28	後期区費・部費納入締切
2009,03,01	第2回ワイズデー ロールバックマラリアワークショップ
2009,03,05	2月度EMC調査集計表
2009,03,06	第9回役員会
2009,03,07	～8日 次期会長・主査研修会 チサンホテル新大阪
2009,03,08	卒業リーダー祝会
2009,03,15	BF切手納入締切
2009,03,22	YMCAリトセンチャリティーゴルフコンペ
2009,03,31	CS・TOF・FF・BF現金各納入締切
2009,04,04	～5日区第3回役員会・区第1回準備役員会
2009,04,05	3月度EMC調査集計表
2009,04,10	第10回部役員会
2009,04,19	YYフォーラム
2009,04,19	リトセン夜桜フェスタ
2009,05,05	4月度EMC調査集計表
2009,05,08	第11回部役員会
2009,05,09	部メネット会長・連絡員引継会 龍舞
2009,05,17	チャリティーラン
2009,05,28	～31日 BF代表受け入れ
2009,05,30	YMCA定期総会
2009,06,05	5月度EMC調査集計表
2009,06,06	第4回区役員会 第2回準備委員会 代議員会
2009,06,06	～7日 西日本区大会
2009,06,12	第12回部役員会(合同)
2009,06,21	第4回部評議会 (午前)
2009,06,21	09～10年第1回部評議会 (午後)
2009,07,05	6月度EMC調査集計表
2009,07	部報第3号発行

第13期 京都部決算

2008.07.01～2009.6.30

収入の部

科 目	第13期 当初予算額	第13期 修正予算額	第13期 決算額	備 考
部 費	1,335,000	1,335,000	1,326,000	前期445×@1500 後期439×@1500
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より各部一律
部活動援助金2	89,000	89,000	89,000	西日本区より 445×@200
西日本区ファント収益				
利息			1,224	
単年度収入小計	1,524,000	1,524,000	1,516,224	
前期繰り越し金	957,087	957,087	957,087	
合 計	2,481,087	2,481,087	2,473,311	

支出の部

科 目	第13期 当初予算額	第13期 修正予算額	第13期 決算額	備 考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費 @¥20,000×7事業
部事業費	430,000	430,000	310,000	
会議費	133,000	133,000	130,000	役員会・評議会・三役会 会場費等
印刷費	270,000	270,000	304,898	部報・会議資料等
部会補助費	461,000	461,000	461,000	@1,000×461人(連絡主事含む)
研修費	208,000	208,000	182,000	研修会登録費
通信費	41,000	41,000	37,745	郵便・電話・振込手数料・部ホームページ維持費
事務費	30,000	30,000	10,723	
慶弔費	20,000	20,000	9,885	
単年度支出小計	1,733,000	1,733,000	1,586,251	
次期繰越金	748,087	748,087	887,060	
合 計	2,481,087	2,481,087	2,473,311	

特別会計収入の部

科 目	第13期 当初予算額	第13期 修正予算額	第13期 決算額	備 考
前期繰越金	250,958	250,958	250,958	
一般会計より	100,000	100,000	100,000	
合 計	350,958	350,958	350,958	

特別会計支出の部

科 目	第13期 当初予算額	第13期 修正予算額	第13期 決算額	備 考
スタディーツアー支援金			200,000	
YC支援金	200,000	200,000		
次期繰越金	150,958	150,958	150,958	
合 計	350,958	350,958	350,958	

以上の通りご報告申し上げます。

2009年7月5日

2008年～2009年度 京都部会計 島 本 浩 晃

(印)

上記報告に基づき、監査を実施しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2009年7月16日

2008年～2009年度 京都部監事 大 槻 信 二

(印)

希望は京都から



第14回 京都部 部会 開催のご案内

ホストクラブ 京都洛中ワイズメンズクラブ

協力クラブ 京都ウエストワイズメンズクラブ

京都みやびワイズメンズクラブ

開催日 2009年9月13日(日)

会場 京都全日空ホテル 平安の間

(堀川通二条城前 TEL075-231-1155)

登録	受付	14:00~
開会 一部	式典	15:00~16:10
二部	講演	16:20~17:20

横田 滋 様

横田早紀江 様

三部 懇親会 17:40~20:00

登録費 10,000円

お問い合わせ

E-mail:ys.kyoto14bukai@gmail.com
(080-1434-3462 担当 荒木)
☎ 075-841-2082